

令和5年度アジア圏(台湾)文化・交流体験プログラム派遣事業

アジア圏内<文化・交流>体験プログラム派遣事業が11月7日から10日までの日程で行われ、本村から台湾へ派遣された小学生4名、中学生4名の計8名が、2011年からビデオ通話により本村の小中学校と交流を行っている、台湾嘉南市の小中学校(官田國民中學、嘉南國民小學)を訪問し、現地の生徒と一緒に授業を受けたり、給食を食べるなど交流をしました。

休み時間には一緒にバスケットボールを楽しんだり、交流会では恩納村の生徒が瀬良垣エイサーや流行のダンスを披露するなど、実際に顔を合わせてお互いを知る良い機会となりました。

12月14日には村役場で帰国報告会が行われ、研修生は交流で学んだことや今後の目標などを話しました。



沖縄県身体障害者福祉展及び沖縄県身体障害者福祉大会

12月5日から12月7日に第63回沖縄県身体障害者福祉展が恩納村コミュニティセンターで開催され、県内の身体障がい者による7部門、合計252点の出展がありました。開催地あいさつとして長浜村長は「障がい者福祉の向上に対する多大な貢献に対し心より感謝するとともに恩納村としても障がいの有無に関わらず、誰もが人格と個性を尊重されるノーマライゼーション社会実現に向け互いに支えあう共助の仕組みを構築することが大切」と述べました。セレモニーでは恩納賞としてセルフサポートセンターぴゅあの屋比久愛美さんの絵画の授賞式が行われました。また第56回沖縄県身体障害者福祉大会が12月9日、ゆうなホールで開催され、関係者約300名が参加しました。

第1部では沖縄県身体障害者福祉事業への功績が認められた16名と1団体の表彰や恩納村身体障害者協会の長堂正顕会長による大会宣言が行われ、第2部では恩納村社会福祉協議会による「子どもから大人へつながる福祉教育」について実践報告がありました。

